



正会員 法人・団体

須山建設株式会社
 総合警備保障株式会社
 西日本電信電話株式会社
 浜松信用金庫
 フロイント産業株式会社
 株式会社ユーシン
 株式会社太平エンジニアリング
 株式会社浜名湖国際頭脳センター
 メディアミックス株式会社

賛助会員 法人・団体

中日新聞東海本社

正会員 個人

内田 重男 水島 加寿代 宮角 良介 徳山 博子 上田 芳伸
 鈴木 建也 中村 公之 内山 正子 高橋 秀樹 近藤 良夫
 堀田 孟

賛助会員 個人

和泉 潤	久米 司郎	前田 修	竹内 義臣	外山 晴一
荒木 信幸	山口 悦子	鈴木 啓三	桑原 連吉	佐竹 玄吾
中村 保	村松 貴通	佐口 征男	石川 純	金田 国久
常吉 俊宏	池富 蓉子	桑道 仁志	岡田 剛	中山 千恵子
梶村 春彦	岩井 久考	宮地 純夫	関 伸一	鈴木 卓司
立元 稔章	下石 鐵夫	柳原 一貴	高山 守人	徳山 清子 (家族会員)
中川 貞夫	古橋 武司	宇佐見 靖	守屋 憲一	
浅沼 宏和	小杉 邦雄	中西 敬宏	齋木 英夫	
藤田 明宏	伊藤 賢	高橋 孝子	溝口 久	
内野 浩三	河島 清子	熊田 博仲	中野 眞	

※住所、連絡先、担当者様などが変更となる場合は事務局までご連絡下さい。

NPO浜名湖クラブ 第2回総会

■浜名湖クラブ 総会にて議案可決

地域資源再発見事業と 会員交流会を強化

2013年5月25日(土)、アクトシティ浜松コングレスセンターにて、NPO法人浜名湖クラブ総会を開催し、鈴木建也議長のもと議事が議案通り可決された。

平成24年度は情報発信事業、五感体験事業を重点的に行った。「浜松・浜名湖アートフォトコンテスト2012」を実施したり、ライブカメラ映像を通じて浜名湖の魅力を広げ発信したり、浜名湖周辺の魅力を再発見できる体験イベントを開催した。平成25年度もこうした事業を引き続き企画・実施していくことはもちろん、会員同士がさらに互いを知り合い、仕事や趣味に協働できるきっかけづくりと



↑当日、試飲した傳兵衛氏関連の商品

◆ベンチャー開発へのヒント
 河村傳兵衛氏講演会
 総会後は、記念講演会で、株式会社RIVERSO N代表の河村傳兵衛氏をお招きし、「新産業を興す」と題し、「講演頂いた。河村氏は、静岡の地酒が全国から高評価を受けるきっかけとなった『静岡酵母』の開発者。近年は微生物発酵茶を開発し注目を集めている。
 河村氏は「美味しい酒とは、香りがさわやか、味はきれいでまろい。食事中に飲むものなので、料理をおいしくさせ、酔いざめがいいことが特徴。作り方のポイントは原料米を厳選すること。米洗いで始まり、袋洗いで終わる酒造りを徹底すること」と解説し、新技術は、合理的に多く作れるものが開発されることが多いが、私は「美味しい酒ができる米でなければ意味がない」と話した。

して、会員交流会を積極的に実施していく予定。

事務局便り・お知らせ

会報誌「HAMANAKO NEWS」上で紹介する企業・個人の会員さんを募集します！
 本会報誌企画「浜名湖クラブ会員ZOOM」として、会員さんを紹介をします。所属する会社の紹介、歴史や製品、サービスについて。参加しているNPOや団体の活動紹介やイベント告知など。個人で自分の史的な掲載もOKです。興味のある方は、事務局までご連絡下さい。

コラム・浜名湖ラム 第3弾！

富士山が世界文化遺産に登録されました。浜名湖からも冬場の晴れた日には富士山が見えます。雄踏側から浜名湖ガーデンパークに渡る橋から、北東方向に浜名湖と富士山を一緒に見る事が出来ます。それはそれは素晴らしい気分になります。これからは富士山の素晴らしさを伝えるとともに、その環境を守り、受け継ぐ人々を育てていかなければなりません。浜名湖もこうした気運が盛り上がり、私たちの大切な心よりどころであり続けることを願います。建也

編集後記

「浜名湖」が、まだ形になっていない大昔。この地は天竜川の河口だったといえます。天竜川の起点である諏訪湖の水上で寝ていた人が、目覚めたら浜名湖にいたという伝説も神秘的で興味深い。(水)

浜名湖クラブも法人化してはや1年！地域資源と戯れながらの日々は、走馬灯のごとくだが、1度限りの知識習得ではなく、再び、じっくりと、五感で味わうことが大切だと思う。(建)

開催

H25.5.25
 アクトシティ浜松
 コングレスセンター

報告2



微生物発酵茶については、カフェインレスの茶製造を考へ始めたのがきっかけ。微生物培養からカテキンの分解を発見し、微生物発酵茶の製造へと発展。生葉の酵素を利用して、色、香り、味を作る。「美しい色と美味しい味わいはもちろん、医薬品としての価値が出てくる可能性を秘めている」と話し、製造技術はリバーソンの特許で、この技術の希望者には、契約終結後に技術移転をするという。また、河村氏は「補助金を頼ると開発速度が遅くなり、情報漏洩に繋がるため、あてにしない。研究費はあくまで自己資金と銀行融資」とベンチャーとしての姿勢を語った。



講演会後は、河村氏を囲んだ交流会を開催。会員や一般参加者は、河村氏から、酒や茶の開発秘話を聞き、互いの親睦を深めた。

今年の夏も、浜松

浜名湖を大いに楽しみましょう!

地域資源や皆さんの活躍を「紹介する」

「会員交流会」にも是非「参加下さい」!

浜名湖豆知識 その6

春・夏の風物詩として知られ、数十年間続いてきた浜名湖の潮干狩りが、アサリの不漁により今年は全域で“過去に経験のない中止”となった。シーズン中は5万人以上が訪れる“観光漁業”として定着していた。弁天島海開き花火大会も、50回目の節目を迎える今年で終了することが決定した。弁天神社の祭礼の奉納花火として明治40年ごろから始められたもので、約100年の歴史があり、夏の花火大会としては東海地方で最も早く、本格的な夏の訪れを告げる恒例行事としてく親しまれてきた。たきや漁は水中灯を照らし、その光に集まってくる魚やエビをもりで突く漁法で100年以上の歴史がある。現在は「たきや遊船」という観光漁として、採れたての幸を湖に浮かぶ船の上で調理して味わうこともでき、人気を集めている。



ピックアップ情報 「今切れの渡し」

浜名湖周辺の観光協会・団体などが主催となり、新居と舞阪の宿場を渡し舟で結ぶ「今切れの渡し」が、今年の4月から10月まで運行中。

「今切の渡し」は、現在の様に道路や鉄橋がまだなかった時代、この両宿場を行き来する唯一の交通手段であった。

今年の4月末にこの今切れの渡しモニターツアーに、地域の団体の一員として参加。浜名湖クラブでは昨年「新居宿巡り」、「西区まち歩き・舞阪コース」で両宿場を訪れ、その魅力を再認識したところであったが、そこにこの渡し舟で両宿場を繋ぐことは、新たな価値を生みそう。

船は、10名が乗船出来る大きさと、浜名湖の風を感じることが出来、また湖面に手の届きそうな位で、今切口の辺りでは海水の流れが急に荒くなり少し緊張感を感じられ、その緊張も当時の雰囲気を感じさせてくれる。

昨年は、浜名湖クラブのイベントで何度か船に乗る機会が多かった。これまでは浜名湖が近くにありながら、船に乗る機会があまりなかった。私たち、市民はもちろん、遠方から来た知人や友人が来浜した時には、是非一度乗船をしてもらい、新居宿、舞阪宿を散策し魅力を感じてもらいたい。

お問合せ 弁天島遊船組合



チラシを浜名湖クラブのブログに掲載します。 <http://hamanakoclub.hanazo.tv/>

五感体験教室 「体験! たきや漁」

8/9

- 日時 平成25年8月9日
- 集合時間 18時30分
- 集合場所 たきや漁・貝瀬渡し乗船場(浜名漁協雄踏支所) 車: 雄踏支所前に駐車場がございます。 電車: 舞阪駅より送迎バス用意します。
- 参加料 会員: 9,000円、10,000円(タクシー利用者) 一般: 10,000円、11,000円(タクシー利用者) ※たきや漁体験後、筏での飲食代を含みます。
- 内容 (1)たきや漁体験、(2)お食事・歓談 アルコール、軽食などをご用意しております。ノンアルコールビール、ソフトドリンクもあります。
- 持物等 漁の出来る格好でご参加下さい。 夜は冷える可能性もありますので、各自対応をお願いします。その他、天候不良による中止のご連絡は、当日の午後1時までにご連絡いたします。



会員交流会 「会員ZOOM 第3弾」

7/31

- 日時 平成25年7月31日 18時30分-19時30分
 - 会場 鴨江別館 浜松市中区鴨江町1番地
 - 参加費 会員 1,000円、一般 1,500円
 - 話題提供者 賛助・個人会員 岡田剛さん 一般 はままつシャツ 水野さえ子さん
- ※話題提供の後は、軽飲食を用意し、交流会を開催します。
※参加費に飲食代は含まれています。

岡田さんは、島根県松山から静岡大学に進学され、当時関心のあった化学工学を専攻。卒業後、日揮(株)というエネルギープラントの計画・設計から工事までを手がけるエンジニアリング会社に勤務され、長年、海外プロジェクトのマネジメントに従事されてきました。今回は、企業人時代の様々な経験談や浜名湖についての関心事をお話いただきます。退職後の現在は、大手企業の管理職者向けプロジェクトマネジメント研修の講師としてご活躍。囲碁とゴルフ、モデルシップが趣味。

「はままつシャツ」とは、地元浜松の産業である遠州織物を使い、地元の作家さんたちが、各自それぞれオリジナルデザインに仕立てたシャツ。平成22年の暮れ、「浜松は繊維の街なのに、どうして形になっているものがない?」と、服飾デザイナー水野さえ子さんが発起人となり、「はままつシャツ」の活動をスタート。現在、「遠州はままつを繊維の街からシャツの街へ」という合言葉の元、作りたい人、支えたい人、伝えたい人が集まり、「はままつシャツ部」を創設し、販売イベント等を開催している。そこで、7月の会員交流会で、水野さんをゲストとしてお招きし、発起のいきさつや活動の様子、今後の夢などを語って頂く。

会員交流会

「浜名湖ZOOM 第2弾」

約60名の方が在席する浜名湖クラブ。会員同士の交流の為、また皆さんがお待ちのような情報を共有する為に、毎回、会員、浜松・浜名湖に思いを寄せる方をゲストに、話題提供してもらい、関心事などについてお話をさせて頂きます。

カーリース昭和(株) 参与 竹内義臣 さん
自動車リース業



報告1

商用車の自動車リース、自動車保険、レンタカー業務等を行うカーリース昭和有限会社は、昭和41年の創立。それ以前から自動車修理をメインに行なっており、自分は営業として受注台数を増やそうと、各地の企業団地を周り、無料点検を申し入れたり、他社と比較した年間経費をデータにして保守契約を結んだりして飛び回った。社内では、作業計画書を作り、法人車両点検を合理的に回す方法を検討した。その後、社長と私の二人でリース業をスタート。浜松の法人企業をリストアップし、半年間で65社を回った。受付で門前払いを受けることも多かったが、次に訪ねたときは、訪問企業の社長に「三分話を聞いて」と直談判。しかし一度理解してもらえば、契約は早かった。リースは景気が良くなれば借り替えてくれる。景気が悪くなると、リース期間が終了しても引き続き使用してくれ整備の利益にも繋がる。お客様の立場からも、経費節約になり、車の安心安全が保証されているので、当社もお客様企業も喜びに繋がることが、リースの大きなポイントだ。長年、営業に従事してきて感じることは、さまざまな業種企業を訪ね、各社のトップたちと話をすることで、非常に勉強になることが多かったということ。その話を吸収し、他社で話をすると、いつしか「竹内が何かいい話をしてくれるのでは」と、待ち構えてくれるようになった。これは非常に面白いことで、営業マン冥利につきる。



㈱昭和自動車商会 高山守人 さん

自動車車検、板金、新車・中古車販売&サービス

私は現在、昭和自動車商会が二年前に立ち上げた福祉車両販売に従事している。この事業は、当社の二代目社長が「社会的に貢献できる仕事をしたい」と始めた事業。リフト付きなど特殊車両の修理を受注し、その間は代車を無料提供することで、少しづつ認知され、ニーズが高まっている。今後の目標と夢は、「十年、十五年経っても安心して使える車を提供できる整備工場」を充実させること。一般的に、自動車整備で「あの工場に頼みたい」という感覚を持つ人は少ない。ディーラーなど、きれいで対応がいいところに行くことが多いだろう。しかし、「この車を、こんな理由で、このように修理した」ときっちり伝え、お客様に安心して長年乗って頂く整備工場として認知されるように、貢献していきたいと思う。



私は二年前に浜松に来了。浜松は世界に名高い大企業発祥地であり、家康が出世した土地でもある。しかし地元の良いところを、地元の人はまだ知らない事が多い。もっと声を大にして、地元の魅力を発信してもいいのではと感じ、浜名湖クラブをPRしている。個人的な趣味は釣り。また戦車好きで知人の影響で、三ヶ日猪鼻湖に終戦時沈められた戦車の引き上げ計画にも賛同した。また最近の関心事は、いじめによる僻で苦しむ子供達が多いこと。人間関係の希薄さを身近なところから直していく活動に、何か自分も協力できればと考えている。

㈱ティーケイワン 代表取締役 高橋秀樹 さん
ソフトウェア業

当社は二〇〇五年の設立。システム構築、インフラ構築などを主に、最近ではスマホアプリの開発を着手し始めた。長野県飯田市出身。山奥なので、とても海に憧れて、海の近くの地域を放浪している。学生時代のアルバイトでは、当時電算化が進み始めた時期で、図書館の貸出システムを作る仕事に携わり、大変楽しかった思い出がある。

十年ほど前からオフショア開発がブームとなり、開発を海外へ外注に出す企業が増えた。私が勤めていた会社も上海や北京などに委託していたが、品質管理にとっても苦労した。「これなら自分たちで開発したい」と独立。海外に外注すれば安く作れるという嘘を証明したい」と独立。設立当初は地元浜松の大手企業の仕事を頂くことができたのでスムーズだったが、リーマン以降は壁にぶちあたった。そんなとき、浜名湖クラブ理事の上田芳伸先生と出逢ったことが転機となった。マーケティングの講義を受講し、情報感度を上げていない自分に気づかせてもらった。以来、日経流通新聞などを読み、情報収集に努めたところ、新たな仕事を頂けるようになり、大変感謝している。先述のとおり、山育ちの私は、小学校の遠足で始めて浜名湖の潮干狩りを体験し、貝を食べた思い出を鮮明に覚えている。そのときの経験や味覚を忘れられない。浜名湖をさらにアピールし、海のない地域に住んでいる子供達を招待して、潮干狩りなどを体験させるような授業をするのもいいのではないかと思っている。

